
安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : セメダイン フロアロック 110-L
製品コード : 3341(JP)E
供給者情報
会社名称 : セメダイン株式会社
住所 : 茨城県古河市下大野2184
担当部署 : 環境安全衛生部
電話番号 : 0280-92-4518
FAX番号 : 0280-92-1947
メールアドレス :
緊急連絡電話番号 : 0280-92-4518
推奨用途 : 根太組付用・木質床材用・床束用
使用上の制限 : 推奨用途以外の使用
国内製造事業者等の情報 : なし

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分4

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

環境に対する有害性

分類できない

上記で記載がない危険有害性は「分類対象外」または「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: H227: 可燃性液体 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318: 重篤な眼の損傷
注意書き	
安全対策	: P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 P261: 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。 P272: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P280: 保護手袋 / 保護着 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
応急措置	P310: 直ちに医師に連絡すること。 P321: 特別な処置が必要である。 P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 P333+P313: 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。 P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P370+P378: 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。 P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	: P403: 換気の良い場所で保管すること。
廃棄	: P501: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性	: 知見なし。
重要な徴候及び想定される非常事態の概要(重要な徴候)	: 重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。咳。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。

重要な徴候及び想定される : 熱、火花または炎で発火する可能性がある。 重篤な眼の損傷。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
非常事態の概要（非常事態の概要）

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 変成シリコーン樹脂系弾性接着剤

各成分の化学名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号 (化審法及び／又は安衛法)
鉱油	非公開/未登録	1 - 10	非公開/未登録
酸化マグネシウム	1309-48-4	1 - 5	1-465
酸化カルシウム	1305-78-8	1 - 5	1-189
ケチミン	非公開/未登録	1 - 5	非公開/未登録
スズ及びその化合物	非公開/未登録	0.1 - < 1	非公開/未登録

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹼と水で洗浄する。 湿疹またはその他の皮膚障害の場合: この説明書を持参し、医師の診察を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。 コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。 その後も洗浄を続けること。 ただちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。 症状が現れたら医師の手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。 咳。

	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹、発疹。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	: 医療スタッフに物質が何であることを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
医師に対する特別な注意事項	: 一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
使ってはならない消火剤	: 狭い場所での炭酸ガス消火器の使用は、窒息の恐れがあるので注意すること。 消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。硬化前の当製品が多量に燃えている場合は、水をかけることにより火災が延焼することがあるので、注意すること。
火災時の特有の危険有害性	: この製品は可燃性であり、加熱によって蒸気と空気との爆発性混合物を生成することがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	: 火災や爆発の場合、フュームを吸入してはならない。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行なう者の特別な保護具及び予防措置	: 必要に応じて、防毒マスクなどの呼吸器保護具やヘルメットなどの保護具及び防火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護
-----------------------	--

	具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	： 土壌や河川、湖沼、海を汚染しないこと。下水や排水系に入らないように措置を講じること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	： 大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。物質を適切な、ふたとラベルがついた容器に入れてること。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。
二次災害の防止策	： 関係者以外は近づけないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	： 適切な換気を行う。
安全取扱注意事項	： 裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。取扱中は禁煙。静電気の放電防止策を施す。当材料を目に接触させないで下さい。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。
接触回避（混触禁止物質）	： 酸。強酸化剤。フッ素。詳細については、本SDSの項目10を参照。
衛生対策	： 取扱中は禁煙。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

- 安全な保管条件 : 熱、火花、裸火から離して保管する。
混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
直射日光を避け容器を密閉し5～35℃で保管する。
- 安全な容器包装材料 : オリジナル容器に入れて保管する。他の容器に移さないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

- 管理濃度（労働安全衛生法 - 知見なし
作業環境測定基準）
- 目標濃度（労働安全衛生法 - 知見なし
基安発1024第1）
- 日本産業衛生学会 : 酸化マグネシウム:管理濃度 8 mg/m³（形状:総粉塵）、
2 mg/m³（形状:呼吸性粉塵）
- ACGIH（米国） : すず及びその化合物:TWA 0.1mg/m³, STEL 0.2mg/m³
（有機すず化合物中のすずとして）
酸化カルシウム:TWA 2 mg/m³、酸化マグネシウム:TWA
10 mg/m³
症状:皮膚吸収の危険性がある。

設備対策

- : 適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備を設置する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 空气中の濃度を推奨暴露限界（適用できる場所で）、または許容レベル（暴露限界が確立していない国）を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用すること。

眼及び／又は顔面の保護具	:	サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）とフェイスシールドを着用する。フェイスシールドが望ましい。
皮膚及び身体の保護具	:	適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。不浸透性エプロンの使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	固体。ペースト状。
色	:	白色。
臭い	:	データなし
融点／凝固点	:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	:	データなし
可燃性	:	可燃性あり
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	:	データなし
引火点	:	79℃（セタ密閉式）
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
pH	:	データなし
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数（log値）	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度	:	1.4 g/cm ³
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	ペースト状のため該当せず。
その他のデータ	:	データなし

*1 参照資料は16項に記載した。

10. 安定性及び反応性

反応性	：	情報なし
化学的安定性	：	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。 空気中の水分に触れると硬化する。
危険有害反応可能性	：	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	：	情報なし
混触危険物質	：	酸。 強酸化剤。 フッ素。
危険有害な分解生成物	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：	製品：データ不足のため分類できない。
急性毒性（経皮）	：	製品：データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入）	：	製品：データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	：	製品：データ不足のため分類できない。 【成分情報】 酸化カルシウム：区分2、REACH分類
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	製品：区分1 加成式を適用すると区分1の成分が閾値である3%以上含まれるので、区分2に分類した。 【成分情報】 酸化カルシウム：区分1、REACH登録分類 ケチミン：区分1、REACH登録分類
呼吸器感作性	：	製品：データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	：	製品：区分1 加成式を適用すると区分1の成分が閾値である1%以上含まれるので、区分1に分類した。 【成分情報】 ケチミン：区分1、REACH登録分類
生殖細胞変異原性	：	製品：データ不足のため分類できない。
発がん性	：	製品：データ不足のため分類できない。
生殖毒性	：	製品：データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 製品: データ不足のため分類できない。

【成分情報】

スズ及びその化合物: 区分2、REACH分類

酸化カルシウム: 区分3、REACH分類

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 製品: データ不足のため分類できない。

誤えん有害性 : 製品: データ不足のため分類できない。

その他の情報 : なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 製品: データ不足のため分類できない。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 製品: データ不足のため分類できない。

残留性・分解性 : 製品: データなし

生体蓄積性 : 製品: データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : モントリオール議定書附属書に本物質の成分名称は記載されていない。

その他 : 本製品には水質を汚染する物質 (有機物、窒素化合物) が含まれているため、水質汚濁防止法で定める特定施設からの排水は水質基準で規制される。下水道に排水する場合も同様に規制される。

*1 参照資料は16項に記載した。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 内容物/容器を廃棄物の処理及び清掃に関する法律および地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物に該当するので、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装 : 接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物に該当する。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA	:	危険物には該当しない。
IMDG	:	危険物には該当しない。
品名 (国連輸送名)	:	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	:	非該当
容器等級	:	非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当)	:	非該当
MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)	:	非該当 (液状物質ではない)

国内規制

陸上規制情報	:	当製品は、非危険物 指定可燃物 可燃性固体類に該当する。国内輸送については 1 5 章の規制に従うこと。
海上規制情報	:	船舶安全法: 非該当 海洋汚染防止法: 非該当 (液状物質ではない)
航空規制情報	:	航空法: 非該当
応急時措置指針番号	:	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	:	容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

表示物質及び通知物質 (法 57 条及び法 57 条の 2) 並びにリスクアセスメント対象物質 (法 57 条の 3)

通知

酸化カルシウム (政令番号 190)
スズ及びその化合物 (政令番号 322)
鉱油 (政令番号 168)
表示
酸化カルシウム化合物 (政令番号 190)
鉱油 (政令番号 168)

安衛法 危険物（令別表第1）	：	非該当
有機溶剤中毒予防規則	：	非該当
特定化学物質障害予防規則	：	非該当
鉛中毒予防規則	：	非該当
粉じん障害防止規則	：	非該当
じん肺法	：	酸化マグネシウム
毒物及び劇物取締法	：	非該当
化学物質排出把握管理促進法	：	非該当
化学物質審査規制法	：	非該当（本製品は第 1 種特定化学物質、第 2 種特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質を含有しない）
消防法	：	非危険物 指定可燃物 可燃性固体類（届出数量 3,000Kg）
火薬類取締法	：	非該当
高压ガス保安法	：	非該当
船舶安全法	：	非該当
航空法	：	非該当
大気汚染防止法	：	スズ及びその化合物：有害大気汚染物質
土壤汚染対策法	：	非該当
海洋汚染防止法	：	製品：非該当（液状物質ではない）

16. その他の情報

分類は、EUのREACH登録ドシエの分類、CLP規則 付属VIの表3.1の調和した分類、およびCLP分類インベントリの分類を用いて、JIS Z7252:2019に従って行い、記載はJIS Z7253:2019に従いました。

参照資料：

- 1) ECHA REACH registration dossier
- 2) CLP Regulation (EC) No 1272/2008 on the classification, labelling and packaging of substances and mixtures, Annex VI, Table 3.1
- 3) Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
- 4) 2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

- 5) 2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- 6) 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
- 7) 日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン、2019 年 6 月
- 8) JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
- 9) JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

免責事項:

セメダイン株式会社 は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。 シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。